



寒冷地用PVCワンタッチ雨樋

# Plastmo



北海道を含め積雪寒冷地で雨樋を提案して10年。非常識への挑戦と云われましたが、現在、深く静かに、しかし確実に浸透しています。世界的に見ると積雪寒冷地を含め、雨樋を認めず、拒否反応を起こすのは日本の中の北海道だけという現実があります。それにはもちろん北海道特有の寒さ、雪の多さ、住宅の密集による排雪場所確保難、等の理由があります。しかし、私たちは、積雪寒冷地だからこそ雨樋が必要なのだと信じ、それに耐えうる製品とその考え方を提案し続けてきました。もちろんその為の条件(断熱気密・小屋裏換気)や、対策の考え方(凍害・雪害)を個別に整理する必要がありました。

表紙上記に掲載しましたポセイドンは水の神とされています。水は人類に数々の災害をもたらしますが、無ければ私達は生きることが出来ません。私達は自然の恵みを受けつつも、自然と戦いながら生きていくしかありません。雨樋は自然との共存を考えた古人から伝えつづけられたノウハウです。「極寒のスカンジナビアで、北米で、カナダで、45年の実績。-40℃でもヘイチャラ」と云う現実を踏まえ、弊社の結論はやはり「プラストモ雨樋」です。

#### 「プラストモ雨樋」の提案

1. 外壁・基礎の保護による耐久性アップ。
2. 雨だれカットによる窓からの景観確保。
3. 無落雪三角屋根によるデザインの広がり。
4. 屋根向き条件緩和によるプランニングの広がり。
5. 雨水集中化による雨水利用。

 日本住環境株式会社

# 技術も道具も不要。プロ級の仕上がり。

従来の雨どいでは、氷、雪で1年でこわれてしまいます。  
Plastmolは、スキャンジナビアで北米でカナダで標準採用されています。  
しかもワンタッチ施工、さらに極めて経済的です。



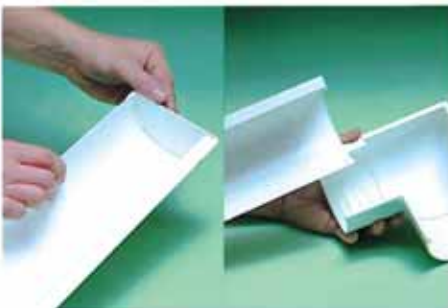
①ブラケットを取り付けます。雨勾配は3mm/mです。



②ブラケットは455mmピッチです。じょうごの位置を確認して下さい。



③コーナーから203mm以上離して、両側にブラケットを取り付けます。



④エンドキャップを接着します。入、出隅の外コーナー、内コーナー樋を接着します。(専用接着剤を使用して下さい。)



⑤コーナーから取り付け始めます。



⑥ブラケットにしっかり納めてください。



⑦じょうごに落ち込む樋の両サイドを火で炙って柔らかくし凹をつけます。樋の長さのカットは、じょうごの温度指示通りとします。※じょうご樋の接着は厳禁です。



⑧樋の継ぎ目はジョイントで補強します。



⑨ジョイントはブラケットより50mm以上離してください。



⑩気温変動に同調するため樋の連続はじょうごから両サイド7.6mが限界です。これを超える場合は、一担、縁を切り逆サイドに振るため伸縮ジョイントを用意しています。つまり15.2mごとにドレンパイプが必要です。



⑪じょうごにエルボをセットしてドレンパイプを継ぎます。ホルダーはドレンパイプ(3m)上下の端につけしっかりと壁に固定します。ドレンの継ぎはソケットを用意しています。※ドレンの継ぎは接着剤を使用してはいけません。

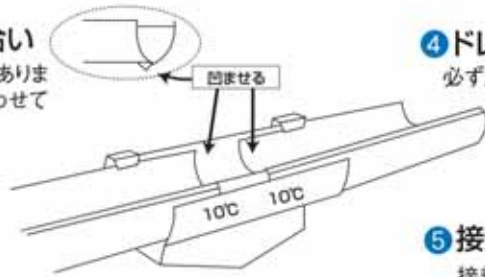


⑫エルボとエルボの継ぎは、ドレンパイプをカットして使います。※これも接着してはいけません。

# ここが 取り付け・仕上げのチェックポイントです。

## 1 「じょうご」と「樋」の取合い

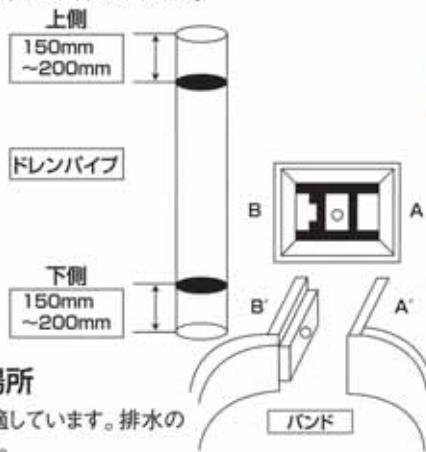
「じょうご」には温度表示目盛があります。施工取付け時の気温に合わせて「樋」を取付けます。



## 2 ホルダーの取付け

●ホルダーはドレンパイプ1本につき1袋(2個入)が必要です。ドレンパイプの上下それぞれ150mmの位置に取付けて下さい。

●上のバンドはきつく締めて下さい。下のバンドは隙間が出来るようにゆるく取付けて下さい。バンドを固定するプラスチックビスは方向性があり、両サイドでは形が違います。上はピッタリ合わせて(A-A')(B-B')を、下は合わないようにして(A-B')(B-A')を取付けて下さい。

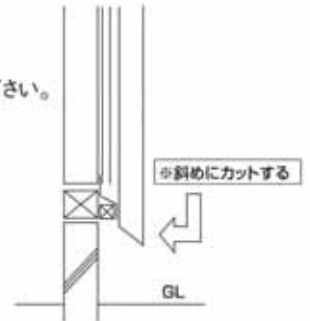


## 3 ドレンパイプの排水場所

一般的に南面と東面が最も適しています。排水の便の良い場所を選んで下さい。

## 4 ドレンパイプの排水口

必ず土台水切りより下の位置にして下さい。



## 5 接着箇所について

接着剤は「エンドキャップ」「外コーナー」「内コーナー」「ジョイント(樋の継ぎ目)」のみ使用。ドレンパイプ、エルボ、ソケット、じょうごと樋・ドレンパイプとの取合い部分、ホルダー下のバンドは決して使用しないで下さい。

## 6 ブラケットの取付け

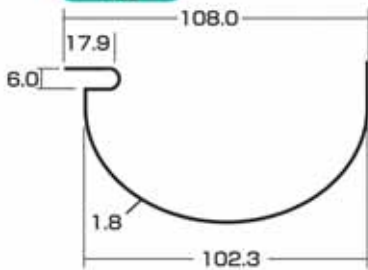
取付けビス(当社では取り扱っておりません)は、ステンレス製の上部で錆びない丸ビスを使用して下さい。取付け穴はΦ5mmとなっています。尚、ビスは締めすぎないように十分注意して下さい。(締めすぎるとブラケットにヒビが入ったり、雪庇等で破損することがあります。)

## 7 その他のチェックポイント

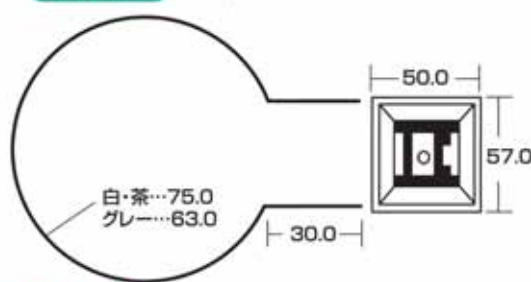
- 破風が鉛直でない場合は「ウェッジ」を使用して下さい。3.5寸と5寸用、6寸と10寸用の2タイプがあります。
- ブラケット取付けは破風面の高さは最低90mm以上が必要です。
- 当社のプラストモ雨樋は、十分な小屋裏換気と断熱気密施工の住宅にのみ取付け可能です。

## サイズ表

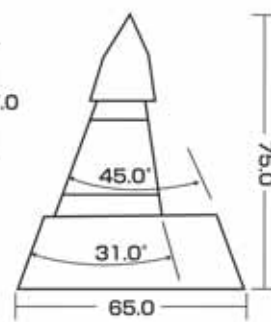
### 樋



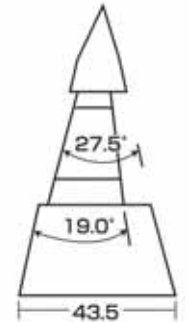
### ホルダー



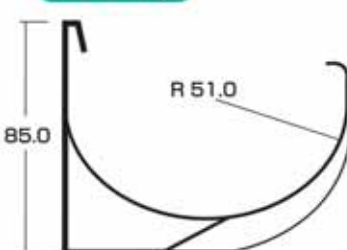
### ウェッジ 6寸・10寸



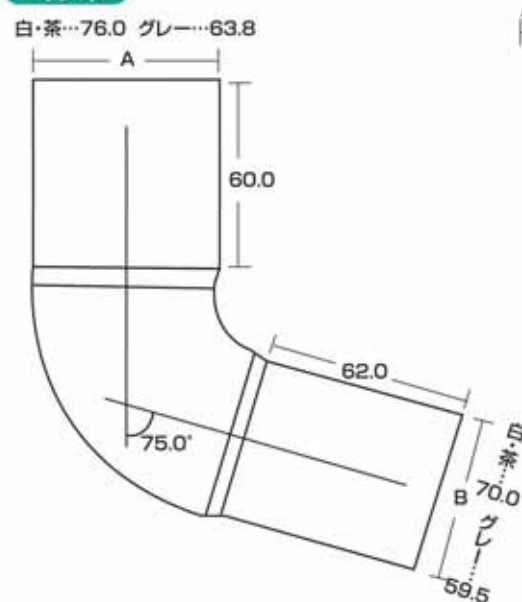
### ウェッジ 3.5寸・5寸



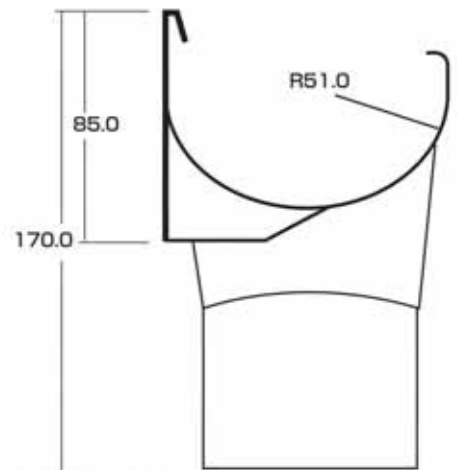
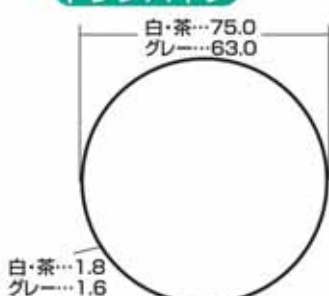
### ブラケット



### エルボ



### ドレンパイプ 色 グレー・茶



### じょうご

白・茶...75.0  
グレー...63.0

